

論語コーナー

足(た)るを
知(し)る者(もの)は
富(と)む



満足することを知っている人は、心が豊かだということです。欲張りすぎず、今あることに感謝する気持ちをもつ大切さを教えています。



思誠

「行為の意味」という詩から

校長 上田 博文

残暑が長く続いていましたが、一気に秋らしく感じられるようになりました。「○○の秋」という言葉があるように、秋は読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋など、さまざまな活動に最適な季節です。子どもたちにとっても、それぞれの「秋」を存分に楽しみ、自分なりの目標や発見を重ねる大切な時期です。学校でも、修学旅行や宿泊研修、陸上記録会や音楽会、学習発表会、読書週間など、秋ならではの行事や活動が目白押しです。これらの行事で子どもたちがのびのびと生活した表情には、日々の成長と挑戦への意欲があふれています。

今年度の重点目標として「自律」と「利他」を掲げていることは以前に紹介しましたが、あわせて、詩人・宮澤章二の「行為の意味」という詩を紹介します。

詩の中で宮澤氏は、「こころ」は誰にも見えないが、「こころづかい」は見える、「思い」は見えないが、「思いやり」は見える、と述べています。つまり、私たちの内面にある気持ちや考えは、実際の「行為」となって初めて、周囲に伝わるのだということです。「自律」と「利他」ということも「行為」となって見えてきます。子どもたちの日常を見ていると、小さな「行為」が大きな意味を持つことに気づかされます。時間を守ろうとする、廊下で友だちに声をかける、落ちているものを拾う、困っている人に手を差し伸べる・そうした一つ一つの「行為」は、相手だけてなく、周囲の人々の心も温かくし、学校全体の力を高めていきます。雰囲気もよりよいものになります。

秋は何か挑戦したり、新しいことを始めたりしやすい時期です。ぜひ、ご家庭でも「行為の意味」についてお子さんと話し合い、日々の生活の中で、自分を正しくコントロールすること、思いやりや優しさをどのように表現できるか、一緒に考えていただければと思います。小さな行為が積み重なり、やがて子どもたち一人一人の成長となり、社会に貢献する力となることでしょう。今後とも、子どもたちが豊かな心を育み、「行為の意味」を意識しながら成長できるように、教職員一同、力を合わせてまいります。

学校だより
令和7年
9月29日発行
新見市立
思誠小学校
TEL(0867)
72-0041

思い出いっぱい！修学旅行

6年生は、9月25日(金)から1泊2日で、修学旅行に行ってきました。欠席もなく、みんなで京阪神方面へ行ってきました。雨の心配をしていましたが、何とか大丈夫でした。少し蒸し暑かったです。無事、見学等ができました。東寺では、朝8時という大変早い時間にもかかわらず、お出迎えくださり、1時間以上もの間、大変詳しく丁寧にご案内くださいました。新見との縁を改めて深く感じました。新見庄とのゆかりのある東寺への訪問は、これからも伝統として引き継いで参りたいと思います。



稲刈り(5年生)

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」田んぼ一面、黄金色の稲穂が重そうにうつむいていました。その稲穂を5年生が新見高校生といっしょに刈りました。高校生や高校の先生から刈り方や注意点を聞き、子どもたちは鎌を使ってざくざくと刈り取りました。みんな上手に刈っていました。刈り取った稲穂を結わいて、はで干しをしました。次はライスパーティーの予定です。とても楽しみです。



地域の方から
教えていただく

交通安全母の会、交通指導員・協働員、警察署の方々から1年生を対象に交通教室を開催してくださいました。横断歩道の安全な渡り方などを教えていただきました。



家庭科で裁縫の学習します。5年生は針と糸を使っての手縫いの学習、6年生はミシンを使ってのナップザックづくりに地域ボランティアの方が来てくださっていました。



<下校の変更>

- ☆14日(火) 15:00 一斉下校(校内研修のため)
- ☆15日(水) 11:40 一斉下校(新見祭のため)
- ☆17日(金) 11:30 下校(西方祭参加児童のみ)
- ☆22日(水) 予備日23日(木) 5・6年14:50頃現地解散(陸上記録会のため)
- ☆29日(水) 中1ギャップ解消事業のため、6年生は一中から各方面に下校